

昔

～川辺小・稲荷町長寿会・ふれあい会～ ながらの遊びで世代間交流

1月28日、川辺小学校で、1年生68人と稲荷町長寿会・ふれあい会の13人との交流教室が開催され、昔遊びで交流しました。長寿会・ふれあい会が準備した遊びは、こまやお手玉など計10種類。児童たちは、一人3種類の遊びを選んで順番に体験し、元気いっぱい楽しい時間を過ごしました。長寿会・ふれあい会の皆さんも、「児童たちから元気をもらった」と話し、笑顔あふれる交流となりました。



▲高く飛ぶお手本の竹とんぼに驚き。児童たちも負けじと、小さな体を目いっぱい使って飛ばしていました。



▲経験のある児童の上手なけん玉さばきに、感心することも。



▲あやとりを教わる児童たち。一本の糸でできるさまざまな形に、児童たちも興味津々。

春

～川辺・ちらんまち二日市～ を告げる風物詩

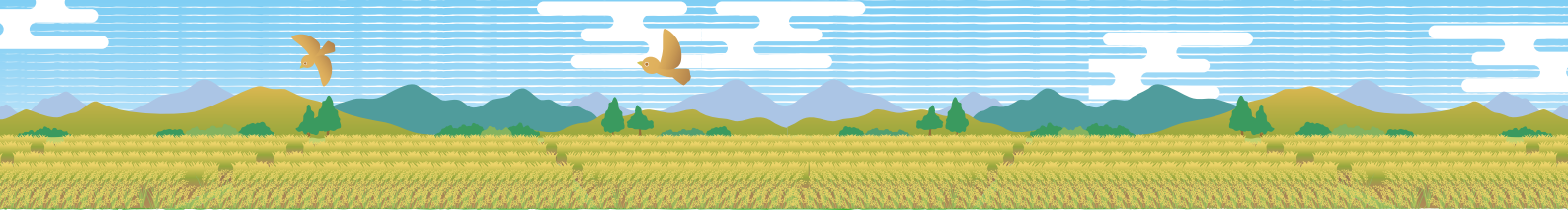
2月2、3日、川辺町商店街で川辺二日市が、知覧まち商店街でちらんまち二日市が開催されました。約230年の歴史を持つ川辺二日市では、400店余りの露店が立ち並び、おなじみの猿回しやバナナのたたき売り、川辺高校生による演奏なども行われ訪れた多くの人を楽しませていました。福男福女による餅まき、グルメフェスタや骨董市などさまざまな催しもあり、会場一帯は大いに賑わいました。



▲ちらんまち二日市の様子。商店街が歩行者天国となり、多くの人を訪れました。



▲軽快な語り口で行われる、バナナのたたき売り。会場には笑い声があふれていました。



学

～小学校将来のあり方検討委員会～ 校と地域を多様な視点で

1月10日、「南九州市立小学校将来のあり方検討委員会」から、市立小学校将来のあり方について、望ましい学校規模や学校と地域のつながりなど多様な視点からの審議結果をまとめた答申書が、教育長へ提出されました。教育委員会はこの答申を受けて、今後の小学校のあり方について基本方針を策定する計画です。提出された答申書は、市ホームページに掲載されています。



▲有馬教育長（左）に、答申書を提出する内閣雄児委員長（右）。

人

～法務大臣から「人権擁護委員」を委嘱～ 権擁護委員委嘱式

1月18日、南九州市の人権擁護委員として、法務大臣から井上陽子さんに再任の委嘱が行われました。委嘱を受けた井上さんは「これまでの経験を活かして、微力ながら今後も活動していきたい」と抱負を話しました。南九州市では現在9人の方が人権擁護委員として委嘱され、地域の皆さんからの人権相談や、問題解決の手助けのほか、人権侵害被害者を救済、人権啓発活動を行っています。



▲人権擁護委員委嘱式の様子。

お

～南・北九州市で給食交流～ 互いの郷土料理を満喫

1月17、18日、今年で6年目となる南・北九州市交流給食が行われました。南九州市では、塗木市長が宮脇小学校、有馬教育長が手蓑小学校を訪問し、北九州市合馬産のたけのこを使った郷土料理「筑前煮」と「いわしのぬかみそ炊き」を、児童と一緒に味わいました。また、北九州市では、南九州市産さつまいもを使った「さつま汁」と「きびなごのかば焼き」8万食が用意されました。



▲宮脇小2年生の児童。塗木市長と給食を食べました。

北

～南・北九州市交流10周年記念事業～ 九州市海産物フェアが大盛況！

2月2、3日、北九州市との交流10周年を記念した「北九州市海産物フェア in 道の駅川辺やすらぎの郷」が開催されました。北九州市特産「豊前海一粒かき」や「あかもく」など北九州でしか買えない海産物を目当てに、大勢の来場者が列を作りました。また、両市の食材を活かしたさつま汁などが販売され、購入する来場客でフェアは大いに盛り上がり、今後の交流促進に向けた大きな弾みとなりました。



▲牡蠣を購入する来場者の皆さん。あっという間に売り切れになりました。